

## 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 18 年 2 月 10 日

上場会社名 ニチバン株式会社

(コード番号: 4218 東証・大証第一部)

(URL <http://www.nichiban.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

堀田 直人 TEL: (03) 5978-5601

責任者役職・氏名 取締役専務執行役員 管理部長

土方 正夫

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(内容) 税金費用の計上基準及びその他一部について、簡便的な方法を採用している。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 12 月 31 日)

## (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	29,281	0.5	1,426	10.9	1,523	11.0	816	5.1
17年3月期第3四半期	29,123	△0.5	1,286	—	1,372	—	777	—
(参考)17年3月期	38,870		1,516		1,650		924	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	19.70	—
17年3月期第3四半期	18.74	—
(参考)17年3月期	20.72	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

## [経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成17年4月~12月)におけるわが国経済は、設備投資や個人消費に明るさが見られ、景気全体としては緩やかな回復基調にあるものの、その回復の動きには企業規模、業種、地域間等の格差が見られ、原材料価格も高値で推移し依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当グループは新中期経営計画【TAG2007】をスタートさせ『開発型企業』の実現に向けて、売上拡大と利益確保に努力いたしました結果、全体の売上高は29,281百万円(前年同期比0.5%増)となりました。損益面におきましては、上期末に行った弊社厚生年金基金の解散による退職給付費用減少などが貢献し、経常利益1,523百万円(前年同期比11.0%増)、四半期純利益816百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

## 財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切捨）

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	44,739	20,531	45.9	495.14
17年3月期第3四半期	46,727	19,733	42.2	475.87
(参考)17年3月期	47,254	19,900	42.1	478.35

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

（百万円未満切捨）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	△1,352	△405	△189	6,575
17年3月期第3四半期	877	△1,064	△209	7,352
(参考)17年3月期	3,127	△2,116	△250	8,519

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の総資産は、減損損失と厚生年金基金の解散に伴う資金の一括抛却等により、前期末に比べ25億1千4百万円減少し447億3千9百万円となりました。また株主資本は四半期純利益等により6億3千万円増加し205億3千1百万円となり、株主資本比率は45.9%となりました。

## キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末に比べ19億4千3百万円減少し、65億7千5百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、13億5千2百万円となりました。これは主に厚生年金基金の解散に伴う退職給付引当金の減少額が、資金の増加要因である税金等調整前四半期純利益、減価償却費、減損損失をほぼ相殺し、売上債権とたな卸資産が増加したこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4億5百万円となりました。これは主に有形固定資産の購入等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1億8千9百万円となりました。これは主に配当金の支払と短期借入金の増加等によるものです。

## ○ 添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書

（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

以上

[参 考]

平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	39,800	1,800	950

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）

21円34銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年11月22日発表の通期の業績予想に変更はありません。

（注）上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる結果となる場合があります。

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>I 流動資産</b>					
現金及び預金	5,521	5,115			6,382
受取手形及び売掛金	14,348	14,308			13,288
たな卸資産	6,052	6,225			5,831
その他	2,456	3,267			3,037
流動資産合計	28,379	28,916	△537	△1.9	28,540
<b>II 固定資産</b>					
有形固定資産	11,395	12,858			12,641
無形固定資産	229	273			267
投資その他の資産	4,735	4,679			5,805
固定資産合計	16,360	17,810	△1,450	△8.1	18,714
<b>資産合計</b>	<b>44,739</b>	<b>46,727</b>	<b>△1,987</b>	<b>△4.3</b>	<b>47,254</b>
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
支払手形及び買掛金	7,497	7,194			6,575
短期借入金	160	140			100
その他	3,365	3,366			4,007
流動負債合計	11,022	10,700	321	3.0	10,682
<b>II 固定負債</b>					
社債	3,000	3,000			3,000
長期借入金	2,350	2,350			2,350
退職給付引当金	4,893	7,949			8,271
その他	2,942	2,994			3,049
固定負債合計	13,185	16,293	△3,107	△19.1	16,671
<b>負債合計</b>	<b>24,208</b>	<b>26,993</b>	<b>△2,785</b>	<b>△10.3</b>	<b>27,353</b>
(少数株主持分)					
少数株主持分	—	—	—	—	—
<b>(資本の部)</b>					
資本金	5,451	5,451	—	—	5,451
資本剰余金	4,186	4,186	—	—	4,186
利益剰余金	10,735	10,085	649	6.4	10,232
その他有価証券評価差額金	310	174	135	77.7	195
為替換算調整勘定	△149	△163	13	△8.2	△163
自己株式	△3	△2	△0	39.3	△3
資本合計	20,531	19,733	797	4.0	19,900
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>44,739</b>	<b>46,727</b>	<b>△1,987</b>	<b>△4.3</b>	<b>47,254</b>

## 2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>I 売上高</b>	29,281	29,123	157	0.5	38,870
<b>II 売上原価</b>	20,654	20,581	72	0.4	27,593
売上総利益	8,626	8,541	85	1.0	11,277
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	7,200	7,255	△55	△0.8	9,760
営業利益	1,426	1,286	140	10.9	1,516
<b>IV 営業外収益</b>	182	163	18	11.3	241
<b>V 営業外費用</b>	85	77	8	10.5	108
経常利益	1,523	1,372	150	11.0	1,650
<b>VI 特別利益</b>	1,249	—	1,249	—	—
<b>VII 特別損失</b>	1,312	56	1,256	—	122
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,459	1,316	143	10.9	1,527
税金費用	642	538	103	19.2	603
四半期(当期)純利益	816	777	39	5.1	924

## 3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,459	1,316	1,527
減価償却費	1,077	1,148	1,550
減損損失	1,254	—	—
退職給付引当金の増減額(減少△)	△3,378	963	1,285
売上債権の増減額(増加△)	△1,060	△717	301
たな卸資産の増減額(増加△)	△220	△136	257
仕入債務の増減額(減少△)	922	△262	△882
役員賞与の支払額	△65	△64	△64
その他	△500	△130	439
小 計	△511	2,115	4,416
法人税等の支払額	△776	△1,171	△1,211
その他	△64	△67	△76
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,352	877	3,127
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の預入による支出	△166	△158	△165
定期預金の払戻による収入	165	157	165
有形固定資産の取得による支出	△536	△1,036	△1,317
その他	131	△26	△798
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405	△1,064	△2,116
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の増減額(減少△)	60	40	—
長期借入れによる収入	—	500	500
長期借入金の返済による支出	—	△500	△500
配当金の支払額	△249	△248	△249
その他	△0	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189	△209	△250
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	3	0	9
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少△)</b>	△1,943	△396	770
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	8,519	7,748	7,748
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	6,575	7,352	8,519

#### 4. セグメント情報

##### 〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	メディカル事業部	テープ事業部	計	消去又は は全社	連結
売上高	8,462	20,898	29,360	△79	29,281
営業費用	6,566	19,221	25,788	2,066	27,854
営業利益	1,896	1,676	3,572	△2,146	1,426

（注）事業区分は、当社の事業戦略単位である事業部（組織）を基本として区分しております。

前年同四半期（自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 16 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	メディカル事業部	テープ事業部	計	消去又は は全社	連結
売上高	8,150	21,037	29,188	△65	29,123
営業費用	6,400	19,374	25,774	2,062	27,837
営業利益	1,750	1,663	3,414	△2,128	1,286

（注）事業区分は、当社の事業戦略単位である事業部（組織）を基本として区分しております。

前連結会計年度（自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	メディカル事業部	テープ事業部	計	消去又は は全社	連結
売上高	10,687	28,292	38,979	△108	38,870
営業費用	8,510	26,081	34,592	2,762	37,354
営業利益	2,176	2,210	4,387	△2,870	1,516

（注）事業区分は、当社の事業戦略単位である事業部（組織）を基本として区分しております。

##### 〔所在地別セグメント情報〕

当四半期、前年同四半期及び前連結会計年度については、在外支店及び在外連結子会社がないため該当事項はありません。

##### 〔海外売上高〕

当四半期、前年同四半期及び前連結会計年度については、海外売上高は連結売上高の 10%未満のため記載を省略しております。